

# 1次関数

年 組 名前

/5

① 切片が  $-1$  で、 $x = -5$  のとき  $y = 34$  となる1次関数を求めなさい。

② 切片が  $9$  で、 $x = 1$  のとき  $y = 13$  となる1次関数を求めなさい。

③ 切片が  $-2$  で、 $x = 7$  のとき  $y = 40$  となる1次関数を求めなさい。

④ 切片が  $12$  で、 $x = -8$  のとき  $y = 20$  となる1次関数を求めなさい。

⑤ 切片が  $-7$  で、 $x = -2$  のとき  $y = -13$  となる1次関数を求めなさい。

# 1次関数

年 組 名前

/5

- ① 切片が  $-1$  で、 $x = -5$  のとき  $y = 34$  となる1次関数を求めなさい。

切片が  $-1$  であるから、この1次関数を  $y = ax - 1$  と表すことができる。

$x = -5$  のとき  $y = 34$  であるから、 $34 = -5a - 1$

これを解くと、 $a = -7$

よって、 $y = -7x - 1$

$$y = -7x - 1$$

- ② 切片が  $9$  で、 $x = 1$  のとき  $y = 13$  となる1次関数を求めなさい。

切片が  $9$  であるから、この1次関数を  $y = ax + 9$  と表すことができる。

$x = 1$  のとき  $y = 13$  であるから、 $13 = a + 9$

これを解くと、 $a = 4$

よって、 $y = 4x + 9$

$$y = 4x + 9$$

- ③ 切片が  $-2$  で、 $x = 7$  のとき  $y = 40$  となる1次関数を求めなさい。

切片が  $-2$  であるから、この1次関数を  $y = ax - 2$  と表すことができる。

$x = 7$  のとき  $y = 40$  であるから、 $40 = 7a - 2$

これを解くと、 $a = 6$

よって、 $y = 6x - 2$

$$y = 6x - 2$$

- ④ 切片が  $12$  で、 $x = -8$  のとき  $y = 20$  となる1次関数を求めなさい。

切片が  $12$  であるから、この1次関数を  $y = ax + 12$  と表すことができる。

$x = -8$  のとき  $y = 20$  であるから、 $20 = -8a + 12$

これを解くと、 $a = -1$

よって、 $y = -x + 12$

$$y = -x + 12$$

- ⑤ 切片が  $-7$  で、 $x = -2$  のとき  $y = -13$  となる1次関数を求めなさい。

切片が  $-7$  であるから、この1次関数を  $y = ax - 7$  と表すことができる。

$x = -2$  のとき  $y = -13$  であるから、 $-13 = -2a - 7$

これを解くと、 $a = 3$

よって、 $y = 3x - 7$

$$y = 3x - 7$$